



## 関連ガイダンス文書 1

---

社会的インパクト・マネジメントの7ステップにおける  
IMPインパクトの5つの基本要素の活用

2021年3月  
発行：一般財団法人 社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ

## はじめに

本文書は「社会的インパクト・マネジメント・ガイドライン VERSION 2」の関連ガイダンス文書として作成されました。社会的インパクト・マネジメントと IMP のインパクトの 5 つの基本要素との対応を紹介します。本文書の内容は「社会的インパクト・マネジメント・ガイドライン VERSION 2」に対応していますので、必要に応じて参照しながらご覧ください。

SIMI では、試行錯誤を繰り返し、多くの人々を巻き込みながら、社会的インパクト・マネジメントによっていかによりよい社会を構築することができるかという命題に取り組んでいます。本文書は、SIMI の取り組みの一端を示すものであり、SIMI では、ガイドラインの活用や改善提案を含め、この取り組みへの多くの人々への参画を求めています。

## 1. インパクトの 5 つの基本要素（Five dimensions of impact）を意識して社会的インパクト・マネジメントを実践する

達成すべき社会的インパクトを具体的に定め、さらに測定できるように指標化する作業は簡単ではありません。Impact Management Project (IMP) では、数年かけて、インパクトというキーワードを考える際に外せない要素を多くのステークホルダーと協議し、それをインパクトの 5 つの基本要素（5 つの側面、Five Dimensions、以下「インパクトの基本要素」または「基本要素」）としてまとめました。

それぞれの取り組みにおいてインパクトを考える際、これらの基本要素を意識して社会的インパクト・マネジメントのステップを進めていくことにより、求める「社会的インパクト」を定める際に考慮すべき点を確認することができます。さらに、それをもとにして指標化を行い、データを収集・分析して報告する作業を構造化することができます。

### IMP のインパクトの 5 つの基本要素

(Impact Management Project Five dimensions of impact<sup>1</sup>より翻訳。和訳は SIMI によるもの)

基本要素	それぞれの要素で答えるべきインパクトに関する問い
What	<ul style="list-style-type: none"><li>● 事業期間で（またはその後に）創出されているアウトカムは何か？</li><li>● 生じるアウトカムはポジティブなものか？ネガティブなものか？</li><li>● アウトカムが生じる対象にとって、そのアウトカムはどの程度重要なものか？</li></ul>
Who	<ul style="list-style-type: none"><li>● アウトカムが生じる対象は誰か？</li><li>● アウトカムが生じる対象は、関係するステークホルダーの中でどの程度ニーズの高い層か？</li></ul>

<sup>1</sup> <https://impactmanagementproject.com/impact-management/impact-management-norms/>

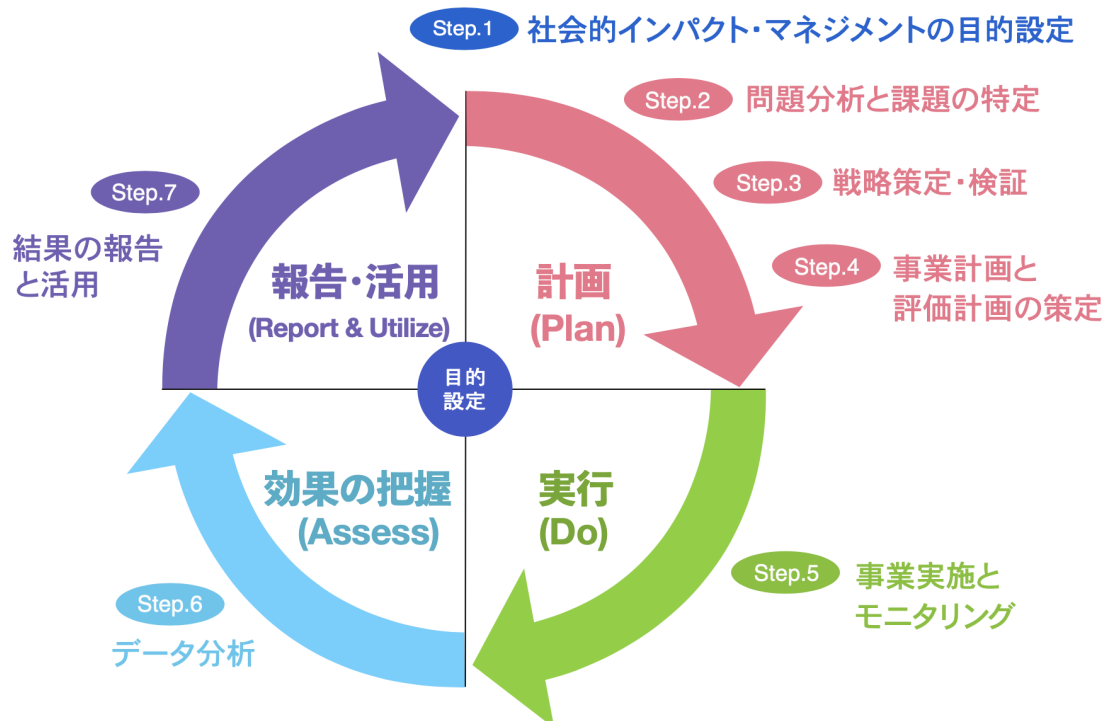
How Much	● アウトカムはどの程度生じているか？（アウトカムの規模、深度、生じた期間）
Contribution	● アウトカムは当該事業の介入なしでも生じたか？
Risk	● アウトカムが生じなかった場合の人々や地球環境にとってのリスクはどのようなものか？

## 2. 社会的インパクト・マネジメントにおいて

### IMP のインパクトの5つの基本要素が活用できるステップ

インパクト基本要素は事業や取り組みの実施の結果創出するインパクトを包括的に考えるための考え方を提供するものです。そのため、社会的インパクト・マネジメントの一連の流れ（下図に示す7ステップ）において、これらの基本要素が特に役立つステップがあります。以下では、それらのステップについて解説します。なお、これら以外にも、Step7（報告・活用）では、それまでのステップで意識したインパクト基本要素に注意して報告・活用へとつなげることも重要です。

社会的インパクト・マネジメントの実践ステップ



## Step2：問題分析と課題の特定 および Step3：戦略策定・検証

### インパクト基本要素を意識して解決すべき課題や達成すべき目的を定める

インパクト基本要素を意識して解決すべき課題や達成すべきアウトカムを定めます。ここで検討した解決すべき課題や達成すべきアウトカムはロジックモデル等のアウトカム部分に位置付けられます。

#### インパクト基本要素の観点で設定すべき課題・目的（例）

What	・解決すべき問題・課題、あるいは達成すべきアウトカムを設定
Who	・どのような人々・事象の変化を目指すべきか（主な対象者）を設定
How much	・問題・課題をどの程度まで解決すべきか、あるいはゴールやアウトカムをどの程度まで達成すべきかを設定
Contribution	・比較対象を設定するか、する場合は何かを設定
Risk	・事業や対象範囲の有無によるリスクを設定

※社会的インパクト・マネジメントの実践ではこれらを考察する際に、「アウトカムを達成するための活動（プロセス）」も設定し、「セオリー（ロジックモデル等）」を作成することが重要です。

## Step4：事業計画と評価計画の策定

### インパクト基本要素を意識して結果・成果の把握方法を検討する

インパクト基本要素を意識して結果・成果の把握方法を検討します。この Step では Step2 および Step3 の段階で絞り込んだアウトカムに対してこれらを測定するための指標及び成否を判断するための目標値（状態）を設定します。

#### インパクト基本要素との関係で設定すべき指標の例（例）

What	・アウトカム指標の設定（問題・課題が解決された状態、アウトカムを達成した状態を何で測定するか）
Who	・対象者の設定（どのような人々・事象の問題・課題が解決されれば良いのか、どのような人々・事象のアウトカムが達成されれば良いのか）
How much	・判断基準（目標値・状態）の設定（問題・課題が十分に解決されたとする基準、アウトカムが十分に達成されたとする基準をどこに設定するか）

Contribution	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比較対象の設定（事業の効果を何と比較すれば良いのか）</li> <li>・例）事業による介入前との比較、別のプログラムとの比較、非介入群との比較、など</li> </ul>
Risk	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスク指標及び判断基準（許容できる水準）の設定（事業を実施したことで、実施しなかったことで）想定されるリスクを何で測定するか、またそれがどの程度であれば重大な問題といえるか</li> </ul>

※社会的インパクト・マネジメントの実践ではこれらに加えて「活動（プロセス）」を測定するための指標（アウトプット指標等）も設定することが重要です。

## Step6：データの分析

### インパクト基本要素を意識してデータを収集・分析する

インパクト基本要素を意識してデータを収集し、分析します。

インパクト基本要素との関係で分析すべき事項（例）

What	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトカム指標の概要を示す（平均値・標準偏差・最小値・最大値など）</li> <li>・このとき「ヒストグラム」や「折れ線グラフ」等、視覚的に分かりやすい結果の示し方ができると良い。</li> </ul>
Who	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に設定した対象者ごとにアウトカム指標の概要を示し、それぞれが事前に設定していた基準に到達しているかどうかを分析する。</li> </ul>
How much	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトカム指標が事前に設定した判断基準に到達しているかどうかを分析する。</li> </ul>
Contribution	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に設定した比較対象（事業による介入前のデータ、別のプログラム群のデータ、非介入群のデータなど）とのデータ比較を行う。</li> <li>・事業の実施度が十分な群と実施度が不十分な群でアウトカムデータの比較を行う。</li> <li>・重回帰分析等、事業以外の要因を統制できる分析方法を用いた事業とアウトカムとの関連性を分析する。</li> </ul>
Risk	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に設定したリスク指標の影響を示し（平均値・標準偏差・最小値・最大値など）、事前に設定した影響度に到達しているかを調べる。</li> <li>・事前に設定した比較対象（介入前のデータ、別のプログラム群のデータ、非介入群のデータなど）とリスクデータの比較を行う。</li> <li>・事業の実施度が十分な群と実施度が不十分な群でリスクデータの比較を行う。</li> </ul>

※社会的インパクト・マネジメントの実践ではこれらに加えて「活動（プロセス）」の実施状況や「セオリー（ロジックモデル等）」の妥当性を分析することも重要です。

## **Step7：報告・活用**

### **インパクト基本要素を意識してレポートを行う**

ガイドライン本編 VERSION2 に記載した通り、主たる読み手が投資家である場合など、IMPのインパクトの5つの基本要素で整理して伝えることも検討の価値があります。

## 制作

本関連ガイダンス文書、以下のメンバーによって作成されました。（五十音順・敬称略、所属は2021年3月31日時点）

- ・ 今田 克司（一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ、株式会社ブルー・マーブル・ジャパン）
- ・ 大沢 望（株式会社大沢会計&人事コンサルタンツ、一般社団法人インパクト・マネジメント・ラボ）
- ・ 新藤 健太（群馬医療福祉大学 講師）
- ・ 千葉 直紀（一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ、株式会社ブルー・マーブル・ジャパン、一般社団法人インパクト・マネジメント・ラボ）

また本ガイドラインの作成にあたり、以下の方々からアドバイス・ガイダンスを得ました。（五十音順・敬称略、所属は2021年3月31日時点）

- ・ 家子 直幸（株式会社三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング 共生・社会政策部 主任研究員）
- ・ 小柴 優子（一般財団法人 社会変革推進財団 インパクト・オフィサー）
- ・ 菅野 文美（一般財団法人 社会変革推進財団 事業本部長）
- ・ 津富 宏（静岡県立大学 国際関係学部 教授）
- ・ 源 由理子（明治大学公共政策大学院 ガバナンス研究科 教授）

本ガイドラインに関するお問い合わせは、以下までお願いします。

一般財団法人 社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ 事務局  
[info@simi.or.jp](mailto:info@simi.or.jp)